

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育委員会学校教育課		■担当係	学事係
■評価事業名称	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業			
■評価事業コード	400200 - 077	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	01 学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上		
	■施策	03 学校・家庭・地域が連携した教育の充実		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の概要	学校の管理下における事件・事故が大きな問題となっている状況を踏まえ、子どもたちが安心して教育を受けられるよう、学校の安全管理に関する取り組みを一層充実させるため。スクールガード養成講習会並びにスクールガード・リーダーによる学校の巡回指導等を実施し、安全体制を確保する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	市内小学校児童及び教職員		各小学校でスクールガードリーダーが実地講習開催や巡回指導の実施

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	990	987	958	954	
人件費					
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	990	987	958	954	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	スクールガード養成講習会の開催	1	1	1回	1回	計画どおり実施
02	スクールガード・リーダーによる小学校の巡回指導	18校	18校	17校/年 495H×2人	17校/年 495H×2人	計画どおり全小学校で実施

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

事業の立ち上げ当初は、老人クラブや地区公民館等の団体が積極的に登録したため、数が多かったが、事業が進展するに従い、実際活動できる個人が登録するようになってきたため、数が減少してきている。

問題点・課題等

登下校中の犯罪防止の観点から、街ぐるみで幼い児童を守らなければならないという意識が高まっているものの、ボランティアの確保に苦慮している。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明

各学校で保護者や地域に対してスクールガードの募集を行い、積極的に参加を呼びかけていく。スクールガード講習会の参加対象者をスクールガード以外の一般市民にも拡大していく。